

基 本 計 画

目標

4

〈産業・観光振興〉

地域の魅力を掘り起こし、
暮らしを支える産業を興します

地域の魅力を掘り起こし、暮らしを支える産業を興します

施策

1

観光の振興

SDGs 該当分野



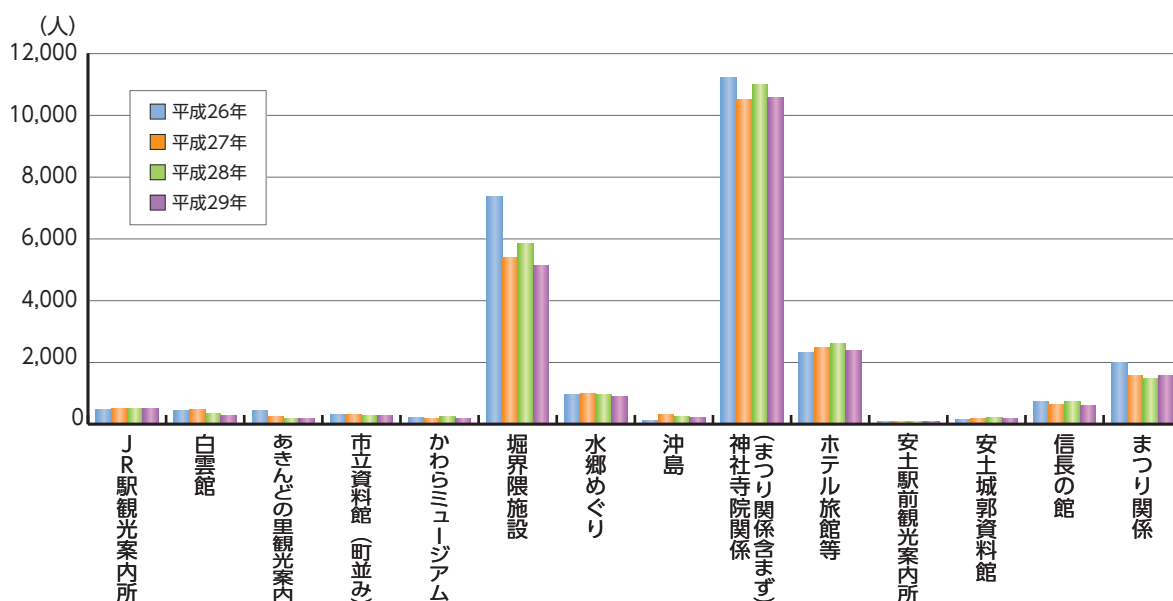
現状・課題

本市には自然と市民活動の豊かさの調和によって育まれてきた豊富な観光資源があります。八幡堀の周辺や重要伝統的建造物群保存地区、水郷、ヴォーリズ建築、織田信長が築いた安土城に関連する施設など、市民が守り育ててきた文化的な景観にあふれるまち全体が本市を代表する観光地となっており、近年では、地域の歴史文化遺産や自然環境を活かした新たな観光施策も展開されています。また、文化的な景観に恵まれた本市には、研修目的の来訪も多く、学びのある観光地といった特徴があります。しかし、本市の観光客は日帰り観光客の比率が高く、観光消費額等の観点からも来訪目的性を高め、観光滞在時間の延伸とリピート性を強化する等の取組を推進する必要があります。

加えて、市民や民間団体等による積極的な活動により、各種のイベント開催や歴史文化遺産、自然環境の保全活動が展開されている一方で、行政を含めた役割や分担が不明確な部分もあります。まとまりある観光づくりや戦略的な観光客誘致のため、DMO法人*を設立し、市以外の主体が取り組む活動や市民活動も含めた情報の集約とネットワークの形成を行う必要があります。

さらに、本市のことを全国的・世界的に認知してもらうためにインターネットやマスコミなど各メディアがもつ特性を活用し、プロモーションの工夫と充実にこれまで以上に取り組んでいくことが求められています。

施設別観光客数の推移



(資料) 近江八幡市文化観光課
(注) 「その他施設」を除く

めざす姿(今後10年間で、この施策で近江八幡市がめざす姿)

国内外から訪れる多くの観光客が、本市の豊かな自然や歴史文化遺産と出会い、その多彩な魅力を心から感じることで、日々生み出される新たな魅力に触れるために、何度もリピートする人が増えています。また、市民も地域の良さを再認識し、まちの魅力を積極的に発信しています。

取組方針(めざす姿の実現に向けて、近江八幡市として取組を進めていく基本的な方針)

取組方針	主な取組
①観光都市としての魅力向上 市民や事業者らが地域の良さを知り、地場産品や文化的景観等まちの魅力を自らPRしたり、歴史・文化に根ざしたイベント等を実施したりすることにより、観光客に選ばれる近江八幡独自の観光資源の魅力を磨き上げに取り組みます。	既存観光資源のブランディングのための広報や新規事業・商品開発等の支援、観光案内方法の充実、市民との協働による観光イベントの実施、滞在時間延伸に向けた観光資源の魅力づくり、磨き上げ、等
②受入体制の整備 DMO法人や事業者、市民団体等をネットワーク化して受入環境を整え、観光客それぞれのニーズに合ったサービスを提供することで、本市への誘客を促進します。	DMO法人の設立支援、多言語対応の観光資料の整備やガイドの育成等の支援、携帯端末用アプリによる効率的な観光案内の提供、等
③プロモーションの推進 様々なメディアを活用し、多角的な情報発信を行うことで、市外や国外からの観光客を誘客できるよう効果的にプロモーションを実施します。	Webページ制作、SNS*による観光情報の発信、等

指標(めざす姿の実現状況、あるいは実現に向けた取組状況を把握する指標)

指標	現状値	目標値（5年後）	(参考)目標値(10年後)
①観光入込客数	4,833千人	4,591千人	4,361千人
②観光消費額	4,835円	7,252円	8,702円
③市内宿泊客数	120千人	144千人	172千人
④観光客満足度(目的達成度等)【アンケート】	78.5%	87%	90%

関連する市の計画

- 近江八幡版DMO形成計画
- 近江八幡市観光振興計画

地域の魅力を掘り起こし、暮らしを支える産業を興します

施策

2

農業・水産業の振興

SDGs 該当分野



現状・課題

本市の農業は、琵琶湖に接した肥沃な平坦農地を土地基盤整備事業により整備し、県下有数の水田面積を誇る田園地帯として、稲作を中心に、麦、大豆、野菜などを合理的に組み合わせた土地利用型農業*が展開されています。

また、近江牛のブランドで全国に名を馳せる畜産業や漁獲量が琵琶湖全体の約4割を占める漁業も営まれています。林業では森林のほとんどが天然林で、人工林が各地に分散しているため、施業としての営みが行いにくい状況です。

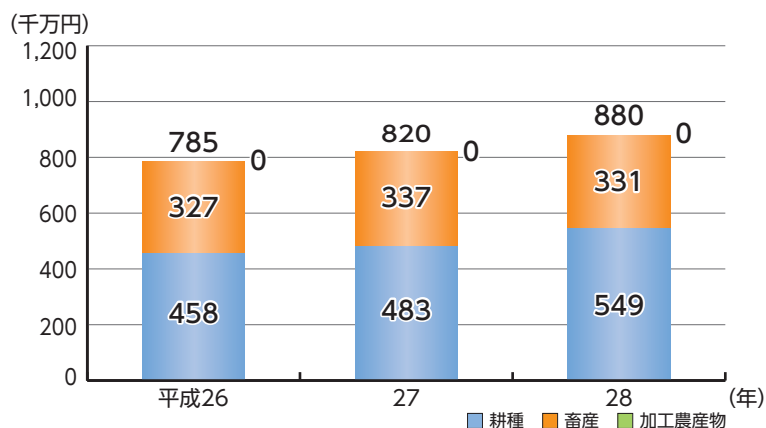
このように自然的特長のある豊かな土地環境により農業、漁業、畜産業と多様な一次産業が発展するとともに、鮎ずしなど伝統的な湖国の食文化が引き継がれています。

一方農業においては、農業従事者の減少と高齢化が進んでいることから、担い手となる集落営農組織*や認定農業者の育成、後継者確保をはじめ、農家所得の向上につながる作付け品種の推進や、農産物の付加価値向上など、様々な取組を国・県・JA等と連携して進めることが求められています。さらに、多くの農業水利施設では、老朽化が進行し、維持管理体制が脆弱化していることから、計画的な更新等が求められており、地域ぐるみによる農業水利施設の保全を図っていく必要があります。

また、漁業においても高齢化や後継者不足、漁獲高の減少が進むなど厳しい現状にあり、琵琶湖の伝統ある漁業・食文化を保全するための対応が求められています。

本市の農地や森林、琵琶湖は、その産物の供給だけでなく、水源の涵養、自然環境の保全、地球温暖化の防止等、わたしたちの暮らしに関わる多面的機能を有しており、その機能を十分に発揮できる取組も必要となります。

農業産出額



(資料) 農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」

めざす姿(今後10年間で、この施策で近江八幡市がめざす姿)

効率的かつ安定的な農業経営基盤の強化をめざすとともに担い手や団体等が育成され、農業・水産業等が魅力とやりがいがある産業として活気が出ています。また、農業水利施設の効率的かつ計画的な保全・更新を推進し、安定的な農業用水が供給されています。

取組方針(めざす姿の実現に向けて、近江八幡市として取組を進めていく基本的な方針)

取組方針	主な取組
①強い農畜水産業の構築 農畜水産業に必要な機械・施設等の基盤整備を進め、経営基盤強化を図ることで、競争力を強化します。	収益力強化に必要な施設整備等の取組支援、作業効率向上に向けた機械導入等の取組支援、新規品目導入に向けた取組支援、等
②多様な担い手の育成・確保 法人営農、集落営農、新規就農及び新規漁業従事者など意欲と能力のある経営感覚に優れた担い手の確保、農業及び漁業従事者間のネットワーク強化による担い手の育成に努めます。	個別経営体や集落営農組織の経営安定化の取組支援、法人化に向けた取組支援、新規就農者及び新規漁業従事者への取組支援、等
③農畜水産物の高付加価値化 地域資源を活用した農畜水産業者等による新事業の創出を図るとともにブランド化による農畜水産物の高付加価値化を進めます。	6次産業化*への取組支援、水郷ブランド農産物等のPR、直売所等における販売促進、地産地消*の推進、等
④農業水利施設の保全更新 農業水利施設の適正な維持管理により、安定的な用水の供給を図るとともに、農業者の負担軽減と農業生産性の維持に努めます。	農業水利施設の効率的かつ計画的な保全更新対策の推進、農業施設の多面的機能が発揮できる施設の維持管理体制の強化、地域ぐるみの保全活動の推進、環境保全に配慮した節水型・循環型の対策、生物多様性に配慮した対策の推進、等
⑤森林の保全 森林が持つ多面的機能発揮のため、適切な森林の整備保全に努めます。	森林の有する多面的機能を発揮させる健全な森林資源の整備保全、市民参加の森林づくりの推進、等

指標(めざす姿の実現状況、あるいは実現に向けた取組状況を把握する指標)

指標	現状値	目標値（5年後）	(参考)目標値(10年後)
①認定農業者数	248人	260人	273人
②農家一戸あたりの経営耕地面積	2.17 ha	2.38 ha	2.61 ha
③農業産出額	820千万円	902千万円	992千万円

関連する市の計画

- 近江八幡農業振興地域整備計画
- 近江八幡市農村振興基本計画
- 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
- 水田フル活用ビジョン
- 近江八幡市農村環境計画
- 景観農業振興地域整備計画
- 近江八幡市森林整備計画
- 農地等の利用の最適化の推進に関する指針

地域の魅力を掘り起こし、暮らしを支える産業を興します

施策

3

商工業の振興

SDGs 該当分野

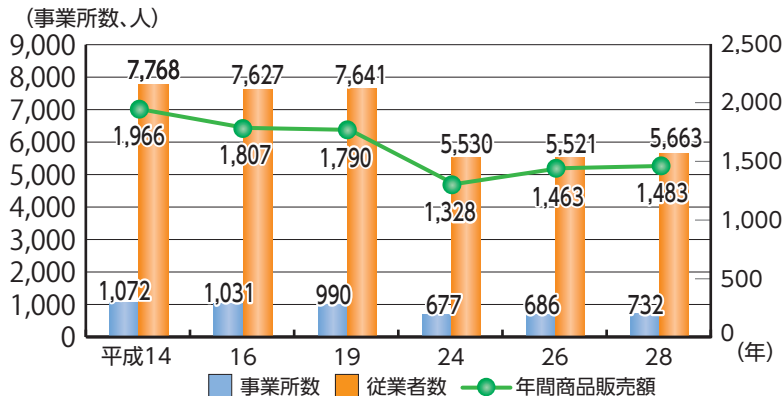


現状・課題

本市では市民の暮らしに密着し、地域の特性を活かした魅力ある商業の再生・振興を図ってきました。一方で、商業・工業共に事業所数、従業者数は減少の一途をたどっており、今後も活力の担い手としての人材育成を通して、商工業のさらなる活性化に向けた計画を策定した上で、企業の経営安定化や成長促進、また、地域に根付いた業種の振興にも取り組んでいく必要があります。

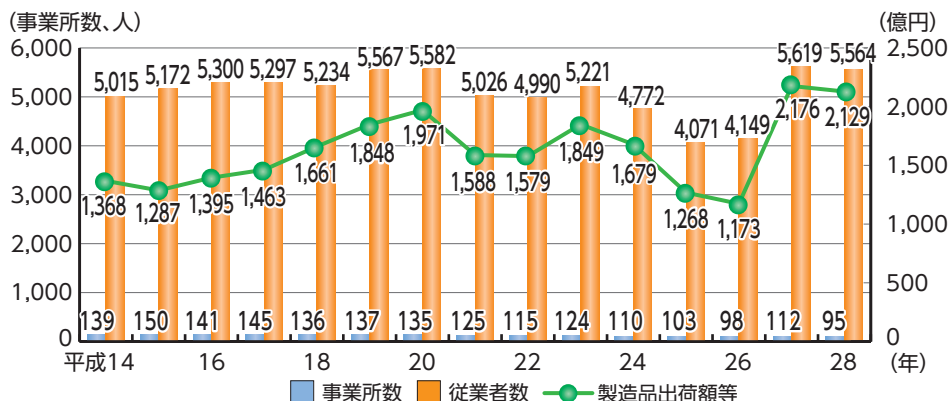
事業所数・従業者数・年間商品販売額・製造品出荷額等の推移

【商業】



(資料) 経済産業省「商業統計調査」

【工業】



(資料) 経済産業省「工業統計調査」

◆めざす姿(今後10年間で、この施策で近江八幡市がめざす姿)

地域の経済を担い、暮らしを支える人材や企業が育ち、市内の経済が活性化し、まちににぎわいが創出されています。

◆取組方針(めざす姿の実現に向けて、近江八幡市として取組を進めていく基本的な方針)

取組方針	主な取組
①商工業の活性化 関係団体等との連携により、担い手の育成を中心に、経営支援の充実を図ります。	現状の地域商工業の調査及び計画の策定、等
②経営基盤の強化 商工会議所及び商工会、金融機関等と連携しながら、企業の新たな製品開発や事業承継、第二創業*に対する支援により、企業の経営基盤の強化を図ります。	地域経済団体と連携した相談支援体制の整備、等

◆指標(めざす姿の実現状況、あるいは実現に向けた取組状況を把握する指標)

指標	現状値	目標値（5年後）	(参考)目標値(10年後)
①商工業振興に関する計画等の策定 ※H32年度中策定予定		策定済	策定済
②年間商品販売額	146,272百万円	147,000百万円	147,000百万円
③年間製造品出荷額	212,868百万円	213,000百万円	213,000百万円

◆関連する市の計画

なし

地域の魅力を掘り起こし、暮らしを支える産業を興します

施策

4

創業支援と雇用の場の確保

SDGs 該当分野



現状・課題

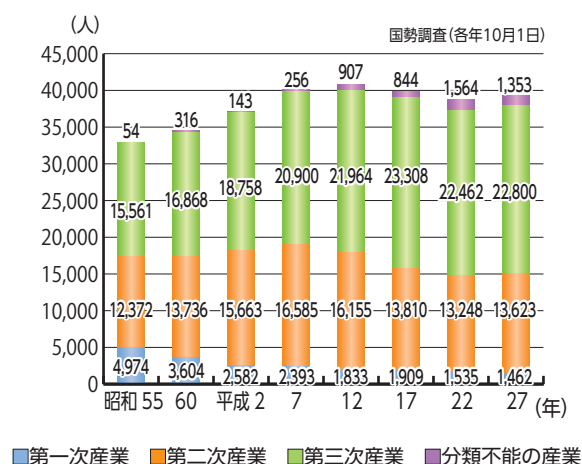
本市では県及び県内他市町とともに、首都圏から本部機能を誘致するための「地域再生計画(滋賀県本社機能移転促進プロジェクト)」の策定や、近江八幡商工会議所・安土町商工会との連携により、創業希望者への支援体制を整えるなど、企業間の連携や新たな産業の創出に向けた取組を進めてきました。

しかし、失業率が県内13市ワースト(2015年(平成27年))、昼間人口比率*は県内13市中10位となるなど、雇用の量および質の確保が課題です。

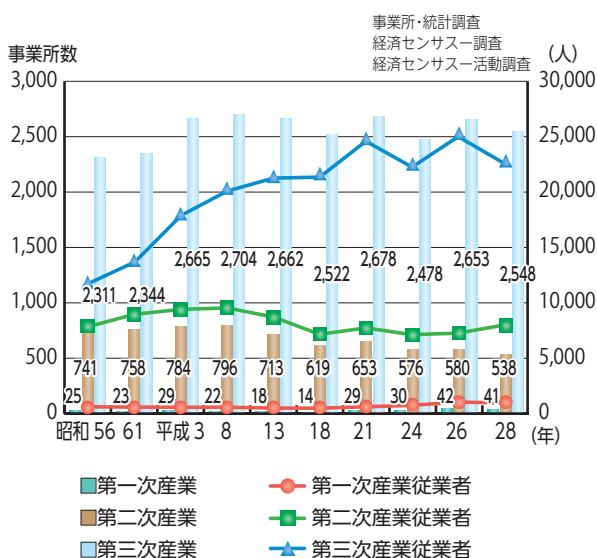
産業機能の集積をさらに促進することで、商工業等の企業誘致を図ったり、創業者・第二創業者に対する支援を産学官金*が連携して、オール近江八幡として支援できる体制を強化するなど、充実した支援を行う必要があります。

産業別就業人口 事業所・従業員の推移

【産業別就業人口】



【事業所・従業員の推移】



(資料) 近江八幡市統計書

◆めざす姿(今後10年間で、この施策で近江八幡市がめざす姿)

仕事に必要な能力を高める場や新たな企業を生み出す場を提供し、高齢者や女性にとっても働きやすいまちとなっています。

◆取組方針(めざす姿の実現に向けて、近江八幡市として取組を進めていく基本的な方針)

取組方針	主な取組
①創業の推進 チャレンジ精神にあふれた起業家の輩出に向け、商工会議所及び商工会と連携し、税務・労務・金融面でのサポートや起業家同士のネットワーク形成等、一体となって支援を行います。	起業家・様々な専門家のネットワーク強化など創業支援に関する仕組みづくり、等
②雇用創出の推進 安定的な雇用確保が期待できる企業の誘致の検討を行い、働きがいのある企業の育成支援や働きやすい環境の整備等を行うことにより、地域経済の活性化を図り、雇用の創出につなげます。	三大都市圏等からの企業誘致の検討、コワーキングスペース*等の設置、等

◆指標(めざす姿の実現状況、あるいは実現に向けた取組状況を把握する指標)

指標	現状値	目標値 (5年後)	(参考)目標値(10年後)
①創業件数	144件／年	140件／年	140件／年
②完全失業率	3.9%	3.5%	3.5%

◆関連する市の計画

- 創業支援事業計画
- 近江八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略

